

採血を受けられる患者さんへ

富山県立中央病院 臨床検査部
中央採血室
看護部
医療安全部

「採血について」ー 血液検査に必要な手技

- ◎「採血」は、病気の診断、病状の把握を行うための医療行為です。
- ◎ 血液検査のために血管に針を刺し、血液を採取します。
- ◎ 採血は基本的には安全性の高い手技ですが、まれに合併症（併発症）が起きることがあります。
- ◎ 医師が診療上必要と判断した場合に、採血の指示を出します。採血室では医師の指示に基づき、採血を行っています。

採血に伴う合併症について

◎「採血」は、基本的には安全な手技であり、合併症の頻度は極めて少なく、また軽症なものが多いとされております。しかしごくまれに、次の1)～4)のような健康被害を生じるとの報告があります。

1) 止血困難・皮下血腫

穿刺後の止血が困難な理由としては、患者さんご自身の要因（疾患の状態・服薬内容など）や、不十分な止血操作などが原因として挙げられます。採血後は、十分な圧迫止血をしていただきますようお願いいたします。

2) アレルギー

採血時の消毒薬やスタッフの手袋（ラテックス）などでかゆみ、発疹をはじめとするアレルギー症状が出現することがあります。

3) 末梢神経損傷

採血後に手指へ広がる痛みやしびれなどが生じることがまれにあります。採血の針が末梢神経に触れることで起きる場合があり、頻度は約1万～10万回に1回とされています。皮膚表層近くの神経走行は個人差が大きいので、神経損傷を完全に防止することはできませんが、通常の採血では、太い神経の断裂などの可能性は低く、損傷は軽度で症状は一時的な場合がほとんどです。

4) 血管迷走神経反応

心理的に緊張、不安が強いと起こりやすいとされ、採血前に起こることもあります。神経が興奮し、急激に血圧が下がるため、めまい、気分不快感、意識消失などを引き起こします。報告によりさまざまですが、0.01%～1%の頻度で起こるとされています。これらの合併症が起きた場合には、適切な処置を行います。（なお、その際の医療行為は通常の保険診療となります。）

「中央採血室」にて採血を受けられる外来患者さんへ

中央採血室では採血を「安全に」「間違いなく」行うため、次のことを確認させていただいております。

ご本人確認

「取り違い防止」のため、患者さんご自身の姓名を名乗っていただいております。

下記に該当する患者さんは、採血スタッフにお申し出ください。

- ◎ 採血時にご気分の悪くなられたことのある方
- ◎ 消毒薬（アルコール）や手袋（ラテックスなど）にアレルギーをお持ちの方
- ◎ 血液透析用に血管処置をされている方
- ◎ テープかぶれが気になる方
- ◎ 抗血栓薬（血液をサラサラにする薬）を服用されている方
- ◎ その他採血に関して、ご希望、ご不安な点のある方

疑問点などは・・・

- ◎ 採血を受ける場面での不安なことは、受付にお申し出ください。
- ◎ 診療内容や、採血結果、検査項目に関してご不明な点は、担当医にご相談ください。